

令和4年度第2回南外地域協議会会議録

令和4年7月28日

南外地域協議会

令和4年度第2回南外地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■議事録署名委員の指名	2
■協議	2
① 市内温泉施設の現状と課題について	2
② 令和4年度地域枠予算対象事業の報告について	6
1. 【新規】「南外小学校創立10周年記念式典」事業	市民主導型
2. 【新規】「教えて菌ちゃん先生」はじめての自然栽培勉強会事業	市民主導型
3. 【継続】「第6回南外盆踊り」開催事業	市民主導型
③ 南外地域「彩色千輪プロジェクト」に関する報告について	12
④ その他	15
• 第3期移住・定住促進アクションプランにかかる意見徴収について	
■閉会	16
■署名	17

令和4年度 第2回南外地域協議会 会議録

■日 時：令和4年7月28日（木） 18時00分

■会 場：南外コミュニティセンター

■出席委員： 8名

伊藤直人、伊藤伝悦、風口宏子、木村ふみ子
佐藤喜八郎、佐藤和香、相馬静華、高橋恵子

■欠席委員： 8名

伊藤君夫、伊藤成幸、伊藤まゆみ、今野 徹
佐々木久、佐藤正行、高見正志、八嶋康晴

■出席職員： 5名

○南外支所職員

久米 啓之（支所長）
佐藤 マキ（公民館長）
佐々木 心都（地域活性化推進室主事）
佐々木 満智子（市民サービス課長）
木村 慎吾（地域活性化推進室主幹）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - ① 市内温泉施設の現状と課題について
 - ② 令和4年度地域枠予算対象事業の報告について
 1. 【新規】「南外小学校創立10周年記念式典」事業 市民主導型
 2. 【新規】「教えて菌ちゃん先生」はじめての自然栽培勉強会事業 市民主導型
 3. 【継続】「第6回南外盆踊り」開催事業 市民主導型
 - ③ 南外地域「彩色千輪プロジェクト」に関する報告について
 - ④ その他
 - ・ 第3期移住・定住促進アクションプランにかかる意見徴収について
- 4 閉会
- 5 署名

(18時00分 開会)

○木村地域活性化推進室主幹（以下「地域活性化推進室主幹」と表記）

皆様、本日はお忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。ただいまから令和4年度第2回南外地域協議会を開会いたします。協議会開催にあたりまして、伊藤会長からご挨拶を頂戴いたします。

○伊藤直人会長（以下「会長」と表記）

皆さんお晩でございます。大分暑くなりまして、夏本番という感じがしてまいりました。コロナウイルスの状況も大分酷くなってまいりまして、本日は座席の間隔を空けての開催とさせていただきます。案件も大変多くなっており、スムーズな進行をさせていただきたいと思っておりますので、ご協力よろしくをお願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

ありがとうございました。それでは議事に入らせていただきます。本日の出席予定委員数は当初10名でしたが、欠席が2名と遅れて来られる方が2名いらっしゃいます。ですので、現時点の出席者は6名です。過半数には達しておりませんが会議は進行させていただきます。もし最後まで過半数に達しなかった場合は、書面決議という形で行いたいと思います。資料の説明に関しては予定通り進めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

本日の議題はその他を含めまして、6件です。また、会議録作成のため録音させていただくことをあらかじめお断り申し上げます。なお、ご発言の際は挙手の上、会長の指名を受けてからお願いいたします。

それでは、議事の進行は伊藤会長にお願いいたします。

○会長

それでは協議会を始めます。議題に入る前に本日の議事録署名委員を指名します。風口委員が今お見えになりましたので、風口宏子委員と佐藤和香委員にお願いいたします。

それでは議事を進めてまいります。議題①の「市内温泉施設の現状と課題」について、事務局より説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

本件につきましては、市内温泉施設にかかる事務全般を所管する市役所の温泉施設対策室の菅原室長が、お手元の資料を基に、市内の温泉施設を取り巻く現状と課題について説明します。それではよろしくをお願いいたします。

○温泉施設対策室菅原室長（以下「温泉施設対策室室長」と表記）

観光文化スポーツ部温泉施設対策室の菅原と申します。本日は貴重な時間をいただきありがとうございます。温泉施設対策室につきましては、市内にある温泉施設の維持管理や

今後の在り方を検討、計画していくために昨年の4月に設置された部署でございます。現在市内の温泉施設は大曲地域を除きました7地域にあります。市町村合併によりまして旧自治体が建設した温泉を引き継ぎましたが、建設してから数十年が経過して色々な課題が出てきております。第一に施設が老朽化してきました。老朽化してきますと修理費が増えてまいります。また、最近では燃料費も高騰してきております。温泉を沸かすのに必要となる灯油代や電気料も値上がりしてきているところでもあります。第二に全ての施設ではありませんが、利用者も減ってきている状況でございます。これは近年ではコロナウイルス感染拡大の影響が大きく響いていること、また、娯楽や余暇の過ごし方も多様化してきており色々な要因が考えられることと思っております。

このため、温泉施設について地域の皆様のご意見をいただきながら将来に向け、多くの皆様に利用していただけますよう進めてまいりたいと考えているところでございます。本日はよろしく願いいたします。

それでは、配布させていただきました資料1に基づき説明させていただきます。この資料1の1ページ目をお開き願います。

市内には大曲地域を除いた7地域に温泉施設があります。平成3年からオープンした中仙地域にあります、「さくら荘」を初めといたしまして、翌年には南外地域の「南外ふるさと館」、仙北地域の「柵の湯」が平成12年にオープンしております。いずれの施設ともオープンから20年から30年が経過しており、色々と維持管理がかかってきている状況となっております。2ページ目をご覧ください。

各施設の面積や温泉の他に営業している食堂、宴会場、宿泊機能の有無、そして源泉の温度や料金について記載しておりますので参考としてご覧いただきたいと思えます。続きまして3ページ目をご覧ください。

温泉施設の課題を記載しております。市内だけではなく、全国的に温泉施設の共通の課題であるものと考えておりますが、先の説明でも申し上げましたが第一に、施設が老朽化してきております。老朽化してまいりますと、修理費も増えてまいります。また、最近では燃料費も高騰してきており、温泉を沸かすために必要となる灯油代、電気料も値上がりしてきており、維持費も以前よりかかり増ししている状況となっております。次に第2に利用者も減ってきている施設もあります。これは近年ではコロナウイルス感染拡大の影響、また、先程も申し上げましたが娯楽や余暇の過ごし方も多様化してきているということも要因の1つではないかと考えております。3つ目といたしましては、温泉施設の更なる魅力向上を図るためには何が必要かということが挙げられます。今後の検討、解消すべき課題としております。次に4ページ目をご覧ください。

南外地域にあります「南外ふるさと館」の入場者と宿泊者をグラフで表したものであります。このグラフの右側の方ですけれども、令和3年度の数値であります。年間延べ35,357人が温泉を利用いたしました。また、宿泊された方は168人でありました。多くの方に利用していただいて、令和3年度の利用者は前年度を上回っております。しかしながら、宿泊者数は回復が出来ず減少している実績となってしまいました。続きまして、5ページから7ページまでご覧ください。

今年度も市の将来のために、市民による市政評価というアンケート調査を実施しております。毎年市民1,000人を対象に市が行っている事業について、満足度や今後取り組んでいかなければならない事業を市民の皆様がどのように考えているか、また何を求めているかを調査するものであります。温泉施設にかかる調査は毎年伺ってはおりませんが、5ページに「市所有温泉施設に対するご意見を伺い、今後の運営改善や将来的な在り方などを検討していくための参考とさせていただきます。」と記載しております。現在維持費が増えてきている施設も多くあります。今後より良い施設とできますよう我々も色々と考えておりますが、皆様からの意見もいただき、市民の声を十分に反映できますよう努めてまいります。後でお時間があるときに、このアンケートに記載していただけたら幸いです。回収するものではありませんが、要望や改善事項があれば、お知らせいただければありがたく存じます。市民全員へ実施したこのアンケートにつきましては、担当課である総合政策課が現在集計作業をしておりますが、集計結果は広報等でお知らせする予定でございます。最後のページになりますが、8ページをご覧いただきたいと思っております。

この資料につきましては、地域協議会にお願いするものであります。大仙市で市民へのアンケート調査を実施させていただくことを説明させていただきましたが、このページでは「地域協議会の皆様のご意見をお聞かせください。」と記載しております。この記載の通り地域協議会から、このご質問に回答していただきたいものであります。質問は1から5まであります。温泉施設につきましては、地域として憩いの場であったり、癒しの場など、なくてはならない場所と考えております。また、南外地域ではこの周辺エリアを地域活性の拠点として計画されていると伺っております。皆様がどのような利活用を計画されているか、そして良いところは何か、またこうあってほしいなどの意見や提案をしていただければ今後の計画に反映させたいと考えております。このアンケートにつきましては協議会としての意見、回答をいただきたいものでございまして、協議会内でまとめるために期間を要するものと思っております。そのため、この場で回答をいただくものではありません。次回の協議会開催時などで集約していただくなど、時間を要するものだと考えておりますので、9月の中旬くらい、おおむね1ヶ月半くらいを目途に地域協議会事務局を通じて、ご回答いただけませんか。何卒、よろしくお願ひしたいと思います。

以上が市内温泉施設の現状と課題についての説明、そしてお願いとさせていただきますが、温泉施設対策室といたしましても市内温泉施設を多くの皆様にご利用いただけますよう努めてまいりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

○会長

ありがとうございました。今回、地域協議会の委員の皆さんの意見を集約したものを後でまとめていただきたいというお話でありましたけれども、事務局としてはどのように集計するか何か考えはありますか。

○地域活性化推進室主幹

温泉施設に関するアンケートの提出について申し上げますが、今日の案件の「その他」

の中でも詳しく説明しますが、地域協議会の皆さんには「第3期移住・定住促進アクションプラン」の意見徴収ということでもう1つアンケートへのご協力をお願いする予定でした。こちらに関しては8月10日を目途に、アンケートをご提出していただくこととなっております。今回の温泉施設についてのアンケートも同じような流れで、8月10日まで記入用紙をご提出していただければと思います。アンケートの回答依頼に関しては、こちらから改めてお願いさせていただきますので、ご協力よろしく願いいたします。

○会長

分かりました。皆さんよろしいでしょうか。

せっかく室長さんが見えになりまして、温泉施設について色々なご説明をいただきました。何か室長さんにお聞きしたいことなどありましたら委員の皆さんにご発言いただきたいと思いますが、何かありますでしょうか。

もし質問がなければ、資料の5ページにある「利用者数の推移」という折れ線グラフについてお聞きしたいことがあります。南外ふるさと館は比較的下の方にありますが、南外地域の居住人口から割り出すと、利用率的には非常に高いといえるのではないのかと思います。その辺りの資料や何か回答できるものがありましたらお願いしたいのですがどうでしょうか。

○温泉施設対策室室長

南外ふるさと館については、4ページでも若干説明させていただきましたが、令和3年度は約35,300人の方に利用していただいております。南外地域の方だけではなく、他地域の方からもご利用いただいていることと、他の地域もですが、多少の人口の減少ということもありまして、アンケートの結果ではどちらからおいでになっているのか、などなかなかデータが取れないものですから、一概には人口比率などと合わせて回答することができません。しかしながら、グラフを見る限り、10年前の平成24年には37,000人の方に来ていただいております。安定した形で34,000、35,000人台をキープしてご来場いただいているので、人口は少しずつ減ってはいるものの、安定しているということを考えて、人気の高さとかそのような要素もあるのではないのかということも考えられます。また、令和2年については本当にコロナウイルスの影響で、他地域も同様に数千人来場者が落ちてしまっていますが、それが回復してきている、そして外出制限も若干緩和されてきたということもあり、利用されている方が戻ってきていると考えてもおります。先程会長さんが申し上げました人口比率の回答にはならないかもしれませんが、安定した形での利用者が推移しているのではないかとこちらでは考えております。

○会長

大変失礼しました。南外地域はざっくりばらんに言うと人口が3,000、4,000人でふるさと館の利用者が30,000人ほどです。例えば西仙北や中仙だと、10,000人ほどの人口に対して65,000人の利用者だとすると、人口割で言うと決して南外

の利用率は低いとは言えないのではないかと思います。他の地域から来ているということも別にして、南外地域だけでの利用となれば、結構利用率は高いのかなという気がします。その辺りを温泉施設対策室でも考えていただければありがたいなという趣旨でありますので、よろしく願いいたします。

他にご質問・ご意見等ありませんでしょうか。

【意見・質問なし】

特にないようですがよろしいですか。では次回まで皆さんの意見をまとめていただければと思いますのでご協力をよろしく願いいたします。

それでは温泉施設対策室室長さんの説明が終わりましたので、ここでご退席されます。今日はありがとうございました。

続きまして議題②の令和4年度地域枠予算対象事業の報告について事務局より説明をお願いいたします。

○佐々木地域活性化推進室主事（以下「地域活性化推進室主事」と表記）

【新規事業】

● 南外小学校創立10周年記念式典事業【市民主導型】

- 事業の目的:南外小学校が創立してから10年を迎える。記念すべき節目の年を、児童と日頃から児童の活動や成長を見守る地域の方々や保護者と一緒に祝い、これまでの10年を振り返り、また、これからの更なる伝統を築いていく確かな一歩を刻む日となるよう創立10周年記念式典を行う。

- 予算額:300,000円(補助金)

○会長

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、委員の皆様何かご質問・ご意見等ありましたら伺いたいと思いますがどうでしょうか。

○佐藤喜八郎委員

南外小学校はいつ開校しましたか。

○地域活性化推進室主幹

この件に関しては、お調べして後ほど回答させていただきたいと思います。

○会長

他にご質問、ご意見ありませんでしょうか。

【意見・質問なし】

なければ、続きまして「教えて菌ちゃん先生」はじめての自然栽培勉強会事業について説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

【新規事業】

● 「教えて菌ちゃん先生」はじめての自然栽培勉強会事業【市民主導型】

- 事業の目的：「この地域で楽しく、豊かに暮らしたい」「健康な体、豊かな自然環境、生きていく力を、子どもたちに残したい」一。このような思いをもつ有志が集まり、秋田で生きていく力を身につけて実践することを目的に「南外自給自足推進委員会」を立ち上げました。本事業は当該団体が「自分たちの身の回りから、持続可能な暮らし方を実践する」「子どもたちに残したい場所を自分たちの手でつくる」を目標に企画したものです。

- 事業の内容：持続可能な暮らしの実現と地域内自給率の向上のための勉強会を開催する。

日時／令和4年8月29日（月）午前9時～（※小雨決行）

内容・場所／①実地研修・南外地域赤平台野地内の農地

②座学・南外民俗資料交流館

- 予算額：65,000円（補助金）

○会長

ありがとうございました。ただいまの説明につきましてご意見・ご質問等ありましたら伺いたいと思いますが、委員の皆様何かありますでしょうか。

○佐藤和香委員

この事業はどういった方を対象に考えているのでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

委員会の方では、本当であれば若い親子連れなど比較的若い世代で農業に興味を持っている人に来てもらいたいということでしたが、8月29日開催という短い準備期間の問題もあって、必ずしもそういった方たちを集めるのは難しいのではないかと考えております。

ですので、自然農法に興味を持っている方を幅広く、地域内外から集めたいという考えを持っているところです。

○佐藤和香委員

そうすればこのアナウンスは、南外地域だけではなく大仙市内などにもアナウンスをするということなのですか。

○地域活性化推進室主幹

まだチラシができあがっておりませんが、できあがったチラシに関しては県南のスーパーなどに配布し、できる限り幅広いエリアから参加者を集めたいという考えを持っているようです。

○佐藤喜八郎委員

高野の佐藤です。新しく推進委員会を立ち上げたようですが、加賀屋さんという方は前からこういった取り組みをされていた方なのではないでしょうか、というのが1つと、「秋田で生きていく力を身につける」という命題がありますけれども、それと自然農法を学ぶということの繋がりはどこにあるのか、ということについてお聞きしたいです。

○地域活性化推進室主幹

本来であればただいまの質問についての説明は、団体の関係者からするべきで、100%団体の思いを伝えられるかどうか自信はありませんが、代表者の加賀屋さんについては南外在住の方で、おそらくこういったイベントを主催したのは初めてだと思います。自然農法にすごく興味があったということで、同じような思いを持っている仲間を集めて、南外で取り組んでみたいという思いから事業をスタートしたようでした。会長は加賀屋さんですが、昨年地域おこし協力隊を退任しました、岡田智美さんという方がいらっしゃっていて、その方も運営に携わっています。

団体の目的に掲げている、「秋田で生きていく力」と自然農法の関わりについては上手く代弁できるか分かりませんが、秋田の自然や基幹産業である農業などを大事にしながら取り組んでいくのではないかと思います。今回お招きする吉田先生が行っている農業は農薬を使わない栽培方法らしいのですが、自然に負荷をかけないような農業を自分たちで学び、会としては継続的に自然農法をテーマにしたイベントを実施していきたいという思いがあるようでした。自分たちとしても学びの場としたいという思いがあるようでしたので、1回目の実践ということになります。

○伊藤伝悦委員

まさに今、喜八郎さんが聞いたことを私も聞きたいなと思っておりました。木村さんから、加賀さんの他にもう一方いらっしゃるということを伺いましたけれども、構成員は2人なのではないでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

今回は市民主導型ということで、補助金を団体に支給するという形になりますが、支給要件として、構成員が10名以上であることが必要になってきます。今回に関しては構成員は10名です。

○伊藤伝悦委員

加賀屋さんについてのプロフィールを聞きたいと思っていたところでしたけれども、どちらに在住の方ですか。

○地域活性化推進室主幹

南檜岡地区にお住まいの方です。

○伊藤伝悦委員

もともと南外にいらっしゃった方ですか。

○地域活性化推進室主幹

結婚を機に南外に来られたそうです。

○伊藤伝悦委員

なかなか元気のある方が南外にいらっしゃったと思えば、地域外から来た方で事業に取り組むということですね。良いことだと思います。ありがとうございました。

○会長

多分、結構発展的な内容や情報などをお持ちの方かと思いますが、県の方に勤めている方ですか。

○地域活性化推進室主幹

全くそういう方ではなく、現在は自営業かと思われます。

○伊藤伝悦委員

農地は無償提供で誰かが貸してあげたのですか。

○地域活性化推進室主幹

構成員の佐々木繁雄さんと元協力隊の岡田さんが協力隊時代からお付き合いがあることで、農地に関しても、繁雄さんに貸してくださいとお願いをしたと聞いております。今回の研修場所は赤平地内と書いておりますけれども、いわゆるJAの低温倉庫の裏側に繁雄さんが畑を持っているということで、その一角を貸していただくということになってい

ます。

○伊藤伝悦委員

分かりました。

○会長

ありがとうございました。他にご意見、ご質問等ありませんでしょうか。

【意見・質問なし】

それではこの件につきましては、これで終わりとさせていただきます。
続きまして「南外盆踊り」開催事業について説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室主事

【継続事業】

- 第6回南外盆踊り活動費補助事業【市民主導型】
 - 事業の目的：南外盆踊りを実施することにより、踊り手、観客が今後の地域活動及び住民の自主活動を盛んにし、「地域のにぎわい」の創出へ繋げていく。
 - 予算額：175,000円（補助金）

○会長

ありがとうございました。南外盆踊り活動費補助事業につきまして、何かご意見・ご質問ありませんでしょうか。

コロナウイルスが広まってきていますが、飲食についてはどのようなスタンスで実施する予定ですか。

○地域活性化推進室主幹

コロナウイルスの感染拡大に伴いまして、7月1日付の広報と一緒にお配りしたチラシがあったかと思いますが、そちらの内容が変更になっているという話を聞きます。メインである盆踊りに関してはもちろん実施するわけですが、そこに付随して様々なイベントが予定されておりました。そちらに関しては、現時点ではカラオケは残し、そのほか予定していたコーラ飲み競争などはやめるという話を聞いています。飲食に関しては、先日聞いた時はまだはっきりとは決まっていなかったようでした。できれば色々なことをやりたいということであったと思いますが、今後コロナの状況もどうなっていくか分からない中でありますので、様子を見ながら考えていくのではないかと思います。

○佐藤和香委員

皆さんのお休みは15日くらいまでだったと思うのですが、16日に開催するということがあったので何か訳があるのかなと思いました。例えば、みんなが休みの時に開催すればもっと人が来るのではないかと思います。私事ではありますが、15日まで休みで、16日は職場に行くのですが、帰ってくると18時を過ぎます。そうすると盆踊りに行くのはちょっとな、となってしまうこともあるのではないかと思います。

○木村ふみ子委員

16日にしたのは、15日までは主婦の方々が大変忙しいという理由からです。やはり役員になっている方は主婦の方が多いので、その忙しい時期が終わった後にやりましょうということで、16日にしています。

○佐藤和香委員

主婦の方というのは専業主婦ですか。

○木村ふみ子委員

はい。お盆だとお客さんが来たりするので、そのような忙しい状態の人が多いうことでした。16日からお仕事が始まってしまうので、それもあるかとは思いますが、極力夜の開催ですので来ていただければと思います。

○佐藤和香委員

何時頃まで実施しているのですか。

○木村ふみ子委員

8時30分です。やはりこの事業を4回も休んでしまったので、今回は手探りみたいな状況でして、見てくれる人たちが果たして何人ぐらい来ていただけるのか、不安がたくさんあります。でも、始めないでまた5、6年も経ってしまうとしぼんでしまうのではないかというお話も出ました。まず今回やりましょうという役員会のお話でして、皆様のご協力がなければできないことですので、是非ともお願いいたします。そして、8月7日に練習会をこのコミュニティセンターで行いますので、それに来ていただいて、当日は皆さんに踊っていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○会長

実行委員会で色々協議しての決定だと思いますので、よろしく願いいたします。他にご意見・ご質問ありませんか。

【意見・質問なし】

無いようですので、議題②の令和4年度の地域枠予算対象事業の報告についてはこれまで

とさせていただきます。

続きまして議題③の南外地域「彩色千輪プロジェクト」に関する報告について説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

1. アンケート調査の実施状況について

「彩色千輪プロジェクト」を進めるにあたって、地域住民の意見を反映させることを目的に、2つのアンケート調査（「施設利用者アンケート」と「なんがい子育て世代アンケート」）を実施し、集計・分析が終了している。

○ 施設利用者アンケートについて

■ 対象者：南外ふるさと館・南外民俗資料交流館・南外さいかい市・ぬくもりの郷の利用者等（10～80代）／「南外さいかい市健康サロン」の参加者（70～80代）

■ 回答者数：87人

■ 調査結果から見えること

- 回答者は65歳以上が8割を占めている。
- 施設利用者は南外地域に居住している方が最も多いが、地域外に居住している方も一定数以上いる。
- さいかい市、ふるさと館に比べ民俗資料交流館はリピーターが少ない結果となっている。
- さいかい市は購入目的で訪れる方が最も多いが、観光目的として市外からも訪れる方が一定数いる。
- 民俗資料交流館は展示室見学目的で利用される方がほとんどである。学校行事などのイベントがあれば一時的に利用される方もいる。
- ふるさと館は温泉の利用がほとんどだが、市外から訪れる方の中には宿泊のため利用される方もいる。
- より多くの方に訪れてもらうために必要なことは「南外地域の観光資源との連携」と回答した方が最も多かった。
- 値下げや支払い方法の電子化などお金に関する意見が一定数あった。
- 駐車場や施設設備の充実を求める声が多くあった。
- 食に関する祭りの意見を求める声が多くあった。

○ 子育て世代アンケートについて

■ 対象者数：つきの木こども園園児及び南外小学校児童及び南外中学校生徒の保護者（20～50代）

■ 回答者数：133人（回答率49.3%）

■ 調査結果から見えること

- 回答者は30代から40代の女性が大半を占めている。
- 余暇の過ごし方で多いのは「スポ少・部活の付き添い」「家事・掃除」のような育児や家庭に深く関わるもの。
- 日常生活の中で「家族とのふれあい」を最も大切にしている。
- 地域の活性化には「若者が参加しやすいまちづくり」が必要と考えている。
- まちづくり活動に参加したいと考える人は多いが、一方で参加したくない人も相当数いる。
- 「仕事」「資金」「情報不足等」がチャレンジを妨げる壁となっている。
- コンビニ設置のニーズが高い。南外さいかい市はその代替とはなっていない。
- 公園の拡張や遊具の増設・修繕、キャンプ場の整備・利活用など、屋外施設の充実を求める意見がある。
- 子ども参加型のイベント開催を期待する意見がある。
- 少子高齢化に対する不安を述べる意見はほとんどない。

2. 「小さな拠点」活性化会議の実施について

今年度の地域予算事業で「彩色千輪プロジェクト」の一環として「『地域とつながる！』プロジェクト」の「『小さな拠点』活性化会議」を実施している。

南外中学校2年生12人が3つのグループに分かれて、拠点3施設の利活用のアイデアをまとめる「活性化プラン」づくりがほぼ完了しており、9月開催予定のプレゼンテーションまでにさらに練り上げていく予定。

○ 活性化プランづくりについて

グループごとにアイディアマップを持ち寄ってSWOT分析*の手法を用いてアイデアや意見などを集約・整理した上で、拠点3施設の「集客力向上につながる現実的に実施できそうな取り組みや催し」を考えて、「『小さな拠点』活性化プラン」を作成する。

9月下旬に中学生による「地域活性化プラン」プレゼンテーションを行う予定。

※SWOT分析…SWOTとは、【強み】(Strength)、【弱み】(Weakness)、【機会】(Opportunity)、【脅威】(Threat)の頭文字を取ったもので、この4つの要素を使い分析を行っていく手法。

3. 事業計画等の策定に向けた今後の作業について

南外地域「彩色千輪プロジェクト」の事業計画策定のために実施を予定していた意見調査等はすべて完了した。

今後は意見調査等で得られたアイデアやキーワードを基に南外支所地域活性化推進室が中心となって事業計画等の素案をつくり、昨年度の協議会で決定した「地域活性化の方向性」などと合わせて「全体構想」としてまとめ、第3回地域協議会で掲示する予定。

○ 今後の作業スケジュール

1. 「なんがいをなんとかしよう」ワークショップの実施（8月）

- ▶ 意見調査等で得られたアイデアやキーワードを基に、実現可能な取り組みを考えて決める。
- ▶ ワークショップの参加者は地域活性化推進室職員（兼務含む）及び拠点3施設関係者等を予定。

2. 事業計画等素案の作成（8月）

- ▶ 地域活性化推進室がワークショップの結果を基に、南外地域「彩色千輪プロジェクト」の全体構想及び事業計画の素案を作成する。

3. 第3回協議会での事業計画等の素案の掲示及び説明（9月中～下旬）／南外中学校「小さな拠点」活性化会議「拠点利活用・活性化プラン」プレゼンテーション（9月30日開催予定）

○会長

盛りだくさんの説明でしたけれども、この時点で何か委員の皆さんから確認したいこと等ありましたらご発言いただけたらと思います。何かありましたでしょうか。

○佐藤喜八郎委員

アンケートの結果ですが、すごく良いものがたくさん出ていると思います。この内容を取捨選択して形作っていくというお話でしたけれども、取捨選択するときに実現可能というのが1つの目安になるかと思っています。実現可能も大事ですが、南外地域に何が一番必要かというのが一番の目安になってほしいと考えました。1つの意見です。

○会長

実現可能もさることながら、南外地域に最も必要な事業も重点事項ではないかということでありましたので、それも付け加えて検討していただければと思います。いずれ、職員の方々にワークショップを開催して、協議して、9月頃に皆さんにお示しするというこ

でありました。皆さんもそれまでの間に今日いただいている資料の中から、それぞれご意見をまとめていただければと思います。

他に何か確認しておきたいこと等ありませんか。

○久米支所長（以下「支所長」と表記）

今、佐藤委員からいただいた意見についてですが、やはり実現可能ということも大事でしょうけれども現実路線ばかりではなくて、夢や目標など、そのようなところも取り入れていければと思いますのでよろしく願いいたします。

そして、私からの説明になりますが、右上に「資料2」と書かれている資料をご覧くださいできればと思います。「彩色千輪プロジェクト」についての事業説明書になりますが、前回の地域協議会で質問されました、「この事業はどのような予算になっているか」ということについて説明させていただきます。こちらは彩色千輪プロジェクトの当初予算の資料であります。小さくて見えにくいかもしれませんが、予算額の合計が1,252,000円とあまり大きな額ではありません。金額の大部分を占めるのは、中仙の「ドンパン娘」に関するイラスト等の作成で900,000円、後は大綱交流館のワークショップに関する予算が352,000円となっております。他は0円となっておりますが、今年度は計画の策定のみで、実際に動き出すのは来年度以降ということでこのような予算となっております。次のページにA3版の資料がありますが、こちらはもう少し詳しく載っている資料になります。合計額が先程の資料と違っており、3,818,000円となっておりますが、こちらは彩色千輪プロジェクトの中の予算科目が当初予算と若干違うところがあるからです。道の駅なかせんの予算の中で、商工費の観光費というところに置かれている事業がありまして、2ページ目はそちらが含まれている資料ですので、先程の1ページ目の資料と少し合計の額が違っております。ご了承いただければと思います。

3ページ目につきましては、現在中仙で取り組んでいる事業が掲載されております。彩色千輪プロジェクトには直接関係ない「ジャンボうさぎ」についても載っておりますが、このような内容で中仙は事業を進めておりますので、参考にしていただければと思います。

○会長

ありがとうございました。彩色千輪プロジェクトの説明につきまして、質問等無ければこれで閉じたいと思います。

【意見・質問なし】

それでは議題④「その他」の第3期移住・定住促進アクションプランにかかる意見徴収について説明をお願いいたします。

○支所長

はい。ではお手元の「資料3」と書かれた資料をご覧ください。こちらにつきましては、

令和2年3月に策定した「第2期移住・定住促進アクションプラン」が今年度で最終年度となっております。現在、こちらを改訂に向けて準備しているところであります。次のページをご覧ください。本当に小さい文字ですが、「各地域協議会の皆さんからの意見も伺います」と書かれております。その下の策定スケジュールを見ていただければ、6月から8月まで各地域協議会の皆さんから意見徴収を行うこととなっております。こちらに関してですが、資料からは少しそれてしまいますが、皆さんのお手元に「第3期移住・定住促進アクションプランの方向性等に対する意見について（依頼）」という市長からの文書があるかと思えます。地域協議会の皆さんから意見をいただければということで依頼の文書になっております。会議前半の温泉施設対策室の説明の時にもありましたが、こちらを皆さんから記入していただき、8月10日まで温泉施設のアンケートと一緒にいただければと思います。支所に持ってきていただくか、FAXでもやりとりしたいと思います。お盆で忙しく、暑くて取り掛かるのもおっくうかと思えますが、こちらの方のアンケートもご協力よろしくお願いいたします。

○会長

ありがとうございました。8月10日までという期限でございました。皆様、日頃移住・定住について考えている方もいらっしゃると思います。今回書面で出すことによって、行政へも伝わると思いますので、よろしくお願いいたします。

この移住・定住促進アクションプランの方向性につきまして、何かご質問等ありませんでしょうか。

【意見・質問なし】

それでは委員の皆さんの中で、この機会に取り上げてほしいことなどありましたらご発言いただければと思います。

【意見聴取】

○会長

次回の会合は、9月下旬を予定しております。詳細は、後日事務局を通じてお知らせいたします。

これをもちまして、令和4年度第2回南外地域協議会を閉会します。お疲れ様でした。

(19時30分 閉会)

南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

風口 宏子

佐藤 和香
